

2 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	戸外への外出は訴えのある人優先になっている。	一ヶ月に1~2回の外出が出来るようにしたい。	地域別に少人数での外出を計画する。また 家族と連絡をとり自宅への帰省も計画する。	2ヶ月
2	4	運営推進会議が活動報告や日頃の状況説明、今後の取り組みを会議の中で話ししているも実行に至っていない。運営推進委員も当初の人数で少ない。	入所者家族、 婦人会、老人会、民生委員の方々に参加をお願いする。	グループホーム独自の交流会として、みょうが饅頭、だご汁作りなど計画する。	3ヶ月
3	36	人生の先輩として人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけを心がけているが、時折、子供扱いした声かけや、命令的口調になる事がある。	常に状況が把握でき適切な声かけが出来る。	目標項目を掲げ毎朝の、申し送り時に意識するようにする。	1ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議の検討内容は、主に活動報告になっており 和気あいあいな雰囲気だが課題、運営に関する問題提起には至っていない。	婦人会、老人会、消防団の方など、GHの存在をみなさんに知って頂き、いろいろな意見を聞きたい。	・GH独自の交流会を考えて呼びかけてみる。	3ヶ月
2	36	人生の先輩としての認識が今一つ感じられず、子供に接するような言葉づかいも時々見られる。	新人や異動してきた職員に対してGHでの心得、理念を気に留めて入居者に接してもらいながら、全職員の意識向上につなげていく。	・研修の資料を基に勉強会、意見交換会を行う。 ・日々、気づいたらお互いに声掛け合う。	3ヶ月
3	49	遠出の外出が無理な方はバスハイクなど参加できず、居残りになっている。	体調を確認しながら、無理のない程度の外出を支援していく。	・近くの景色の良い場所までのバスハイクを計画する ・家族の協力が得られれば、自宅訪問が実現できるようにする。(家族が留守の場合でも自宅近くを眺めてくる)	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。